子どもの見守り②

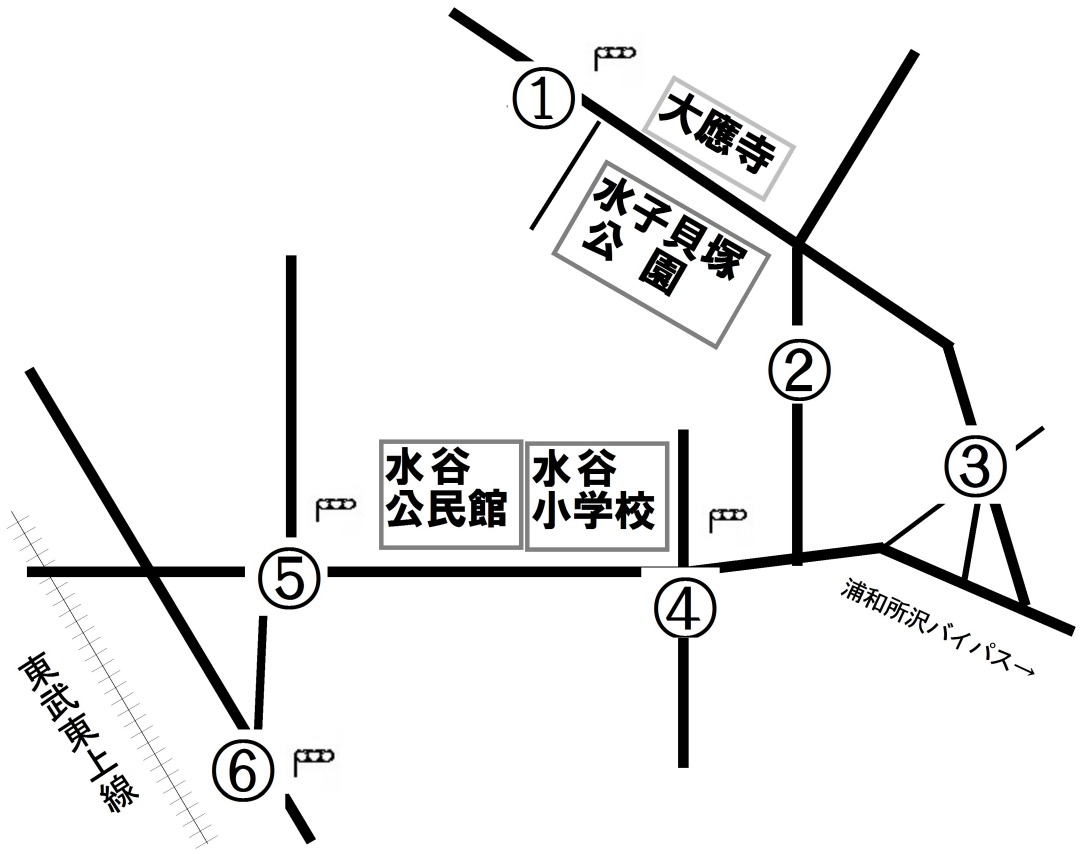
～水谷小学校区の取り組み～

水谷公民館だより

編集　水谷公民館だより編集委員会
発行　富士見市立水谷公民館
富士見市水谷１-13-6　TEL049(251)1129・FAX049(255)9886
水谷公民館メールアドレス　fkm－mi@coral.ocn.ne.jp

夏休みも終わり、まだ暑さのきびしい中、２学期がスタートしました。子どもたちの元気な様子や声を聞くと、私たちも元気をもらえます。そんな子どもたちが安全に登下校し、安心して過ごせるようにするために、私たちにできることは何でしょうか？ 6月号で「子どもの見守り」をテーマに、針ケ谷地区を中心に取材しました。今回は水谷地区にスポットを当て、水谷小やまちづくり協議会を取材しました。住民の方たちに活動内容を知ってもらい、少しでも協力の輪が広がればと思います。　　担当　**髙﨑・彦根編集委員**

～地域の見守り活動重点交差点～



①平塚自転車店付近の横断歩道
②水子貝塚公園南側駐車場付近の横断歩道
③ヘアーサロンキタジマ付近の5差路
④JA水谷支店前の交差点
⑤ブックオフ前交差点
⑥大久保酒店付近の横断歩道

学校と地域の連携

水谷小学校区では、以前から地域をあげて「子どもの見守り」を行ってきました。

昨年度末に発生した交通事故を契機に学校は、地域の水谷小学校区まちづくり協議会（以下「まち協」）に交通事故防止の協力を呼びかけました。教職員と保護者だけでは限界があるからです。

学校からの要請に、町会とまち協が呼応し、地域が一丸となって交通安全活動に取り組み始めました。

水谷小 石井教頭（↑）　水谷小 福満校長（↑）

交通事故の再発防止のため、子どもたちを見る大人の眼も厳しくなります。しかし、この取り組みが子どもたちや学校と地域の人々の絆を深める事になったのです。

登下校時に子どもたちを見守る眼は交通安全に止まらず不審者からも庇護しています。交通整理を行っている大人は、子どもたちの顔や帰る方向もわかるようになりました。地域の大人と子どもが顔見知りになり、下校後の「声かけ」も出来るようになるのです。周りの大人たちが見守ることにより、早期に子どもの変化に気がつけば「いじめ」や「虐待」等も未然に防げることもあるでしょう。

今回のテーマで水谷小学校の福満校長、石井教頭の両先生から「子どもの見守り」についてお聞きしました。

『学校では交通事故防止の他に不審者に対する備え、防災に関しての訓練等を行い事故や災害から子どもたちを守る努力をしています。

年４回ショート訓練を行っています。ショート訓練とは、その場で子どもたち自身で身を守る、物が落ちてこないところ、物が動いてこないところといった安全な場所を探して避難できることを目指しています。

気をつけてお帰り！

この訓練は、業間休み、給食中など想定時間を変え、いつでもどんなときでも危険を予測し適切に判断できる児童の育成に努めています。』

まち協のとりくみ

「まち協」については昨年、7・8月合併号で「水谷小学校区」と「みずほ台駅西口地区」を取り上げましたが、もう一度簡単に紹介しておきます。

「まち協」は、町会を中心とした地域の各種団体や市民が連携して、身近な問題や課題に取り組むために、市内の小学校区ごとに設立を進めています。そうした動きの中で、水谷小学校区内の5つの町会を中心にまち協が平成27年に発足しました。

木内水谷小学校区まち協会長

今回は、その水谷小学校区まち協会長の木内精一さんに、子どもの見守り活動を中心に色々お話を伺いました。

◎子どもの見守り活動について、具体的に教えて下さい。

以前から自主的に活動されている方もいましたが、小学校からの要請により3月から月、木の週2回、町会の協力を得て下校時の立哨指導を始めました。（場所については上記の地図を参照）

◎見守り活動等について住民の方たちの関心や協力はありますか？

もちろん子どもたちの安全を守るという趣旨は快く受け入れてもらい、町会の結束力の高さを基盤に、各種団体も進んで協力してくれています。

またこの活動を通して、通学班での登校時とは違う子どもたちの様子が、よく分かるようになりました。

◎特に通学、通学路でのハード面ではどのような成果がありますか？

通学路のガードレール設置、水谷小脇の歩道のために信号機の移動、また工事中ですが別所幹線の貫通等、危険箇所をなくし安全に通行通学できるような要望の実現に向けて、地道な努力が実ってきています。

◎防犯、防災のために、どのような活動をされていますか？

自転車安全講習、防災訓練、通学路の安全点検等を行っています。

また、各町内ごとに、定期的なパトロール活動や青パトによる巡回等を行なっています。

◎今後の取り組みや課題などについてはいかがですか？

昨年の水害で、家族で自主的に避難された方がいたとの声を聞き、対応の仕方を考えて行く必要性を感じています。また迷子のアナウンスの時も何か協力できればと思いました。

水谷小学校区まち協主催自転車講習会

昔と違って、人との繋がりが希薄になっていると、よく言われますが、今回の子どもの見守り活動等によって、親同士も地域の人たちも顔見知りになり、気軽にあいさつを交わしたり、子どもたちに目を配っていけるような環境づくりができればいいと思います。